

クラス	501	担当教員	うえだ かずひろ 上田 和宏
	テーマ	経済学を使えるようになる	
	著書・論文 研究課題等	<p>最近の研究課題は、主に貧困や不平等、幸福感などを測ること。</p> <p>"Measuring chronic and transient components of poverty : A Bayesian approach", Empirical Economics, vol.33, 2007 (共著)</p> <p>."Self-Assessed Social Position and Poverty", Discussion Paper (Hokkaido Univ.), 2010. (共著)</p>	

ゼミナール概要

キーワード：経済学

目的、内容、方法等：経済学部学生だから、経済学が使えるようになることが大事、という素朴な発想に基づいて、オーソドックス（正統的というか古典的？）なスタイルのゼミを行う。

2年生：「経済学に慣れる」ことが目標。

前期に、経済学の基礎知識をつけるための本を読む。後期には、参加者の興味に応じたテーマに関する本を読む。前期に使う予定のテキストは、やさしい表現で書かれた経済学の入門書である。経済学の歴史や考え方など、幅広く経済学を学ぶ上で知っておくべきことが書かれている。

3年生：「経済学を使えるようになる」ことが目標。

自分たちで決めたテーマについて学習し研究し、(小)論文を書く。日本、世界あるいは地域の経済問題、貧困・格差、幸福感と経済など、テーマはいろいろと考えられる。自分が深めたことを他人に話ができるようになることを目指す。就職活動で、大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものを持つようにする。

4年生；大学での「学習の成果を形として残すこと」が目標。

卒業論文を書き上げる。

ゼミでは、経済学について学習しながら、(ていねいに)「読む」、(わかりやすく)「書く」、(論理的に)「考える」、(他人にわかるように)「話す」力をつける練習をする。また、進路選択についての準備を行う。

教室の中での学習は、現実と結びついて初めて意味があると思うので、フィールドワークなどゼミ以外の活動に関われるようにサポートするつもりである。

授業計画 (スケジュール)：2年生の予定を書く。

(前期) テキストを読み、内容について発表することが中心となる。

まとめ方、発表の仕方などについて練習する。

時事や基礎教養などについての学習も交える。

(後期) 参加者と相談して、実際の経済に関するトピックについて書かれた本、あるいは経済学をもっと深めるための本を読み、内容について発表する。

パソコンを使った図表の作り方、簡単な統計の計算について練習する。

適当な時期にゼミ合宿を行う。その他、娯楽は要望に応じて考える。

テキスト	担当教員からのメッセージ
佐和隆光 著 『佐和教授 はじめての経済学』、 日本経済新聞社、2008年、1785円	<p>・以下の事柄のどれか一つでもあてはまる人と一緒に勉強できたら、と思っています。</p> <p>デパ地下の行列には並んでみる／食べたことがないものでもとにかく口に入れる／食べるのが好き／小説・漫画など活字が読める／本に金を使う気がある／よく考えずにしゃべる／人前で話す自信をつけたい／日本でも外国でも行ったことがない所に行ってみたい／意欲だけはある／まじめ、等</p>